

講義名称	卒業研究 I	担当教員名	李 元重
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	卒業研究 CA4 DI2	単 位	2
対象学年次	2年・春	ナンバリング	REQ211

授業のキーワード	キリスト教、歴史、日本の社会と文化
授業の概要	キリスト教、歴史、日本の社会と文化に対して思考力を高めます。それらと関わる様々なテーマの中で、学生が興味と関心を持っている一つを選び卒業論文を準備します。
期待される学習成果 (目標)	1. キリスト教・歴史・日本の社会と文化に対して総合的かつ主体的に考えます。 2. 論文を読み、批評的に自分の意見を述べます。 3. 自分の中で問題意識を見出し、自主的に追求します。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の概観、卒業論文について説明します。
2	論文の書き方	1年生の時学んだ論文の書き方を復習、深化します。
3	論文批評	他人の論文を読んで批評することで、学びを具体化します。
4	聖書の読み方	キリスト教の基本となる聖書の読み方について説明します。
5	文化の史的理解1	『戦後日本の大衆文化史：1945～1980年』を読み、話し合います。
6	文化の史的理解2	『戦後日本の大衆文化史：1945～1980年』を読み、話し合います。
7	文化の史的理解3	『戦後日本の大衆文化史：1945～1980年』を読み、話し合います。
8	他者が見た日本文化1	『菊と刀』を読み、話し合います。
9	他者が見た日本文化2	『菊と刀』を読み、話し合います。
10	他者が見た日本文化3	『菊と刀』を読み、話し合います。
11	日本の思想とは1	『日本の思想』を読み、話し合います。
12	日本の思想とは2	『日本の思想』を読み、話し合います。
13	日本の思想とは3	『日本の思想』を読み、話し合います。
14	新島襄の理解	新島襄の思想を読み、話し合います。
15	論文の準備	卒論にむけて、夏休み中の課題を説明します。

定 期 試 験	定期試験は行いません。
授 業 時 間 外 学 習	毎週課題とする読み物を読み、自分の意見・感想を準備します。発表を担当する場合は、発表の資料を準備します。卒論に向けてテーマを考え資料を収集します。
評 価 方 法	①読み物の熟読、授業中の質疑・応答などの積極的参加(70%)。②担当部分の発表(30%)。
使用する教科書 (必ず購入してください)	鶴見俊輔『戦後日本の大衆文化史』岩波書店、2001年。ルース・ベネディクト(著)、長谷川松治(訳)『菊と刀』講談社学術文庫、2005年。丸山真男『日本の思想』岩波新書、1961年。
参 考 文 献	新約聖書(各種翻訳)。編集委員会編『現代語で読む新島襄』丸善出版、2000年。小笠原喜康『最新版大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書、2018年。